

公益社団法人 日本3B体操協会
平成27年度 事業報告書

I 法人の概況

1 設立年月日 平成24年5月1日

2 定款に定める目的

この法人は、3B体操の普及を図ることで、国民の健康意識の向上と心身の健やかな生活を推進すると共に、スポーツの振興に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 乳幼児から小中学生、その父母のスポーツ実践と体力向上・健康増進の為に3B体操の指導と支援
 - (2) 成人の疾病の予防と、健康な社会生活推進の為に3B体操の指導と支援
 - (3) 高齢者・障がい者の安全な日常生活と健康寿命を伸ばす為に3B体操の指導と支援
 - (4) 3B体操指導者の養成と技能の向上を図る教育
 - (5) 3B体操教室の成果と運営に関する調査・研究
 - (6) 健康・スポーツ団体との交流と連携
 - (7) その他、この法人の目的達成の為に必要な事業
- 2 前項の事業は日本全国において行うものとする。

4 所管官庁に関する事項

内閣府

5 社員・指導者会員・登録会員推移

年度	社員	指導者会員					登録(一般)
		会員数	入会	復活	休会	退会	受講者
2013(H25)	44	2,786	236	20	-180	-10	351,543
2014(H26)	45	2,852	202	12	-171	-2	376,708
2015(H27)	46	2,893	188	17	-183	0	368,626

6 主たる事務所

主たる事務所：大阪府大阪市都島区中野町三丁目5番3号

7 役員等に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
代 表 理 事	田 中 み 代	常 勤	代表
理 事	木 幡 眞 由 美	常 勤	
理 事	森 下 は る み	非常勤	お茶の水女子大学名誉教授
理 事	小 山 朋 江	非常勤	
理 事	田 中 恭 栄	非常勤	
理 事	石 掛 悦 子	非常勤	
理 事	西 村 智 子	非常勤	
理 事	福 原 由 紀	非常勤	
理 事	北 條 登 貴 子	非常勤	
監 事	菊 地 靖	非常勤	公認会計士
監 事	三 島 初 子	非常勤	

8 職員に関する事項

職員数		前期末比増減	平均年齢
男 子	0名	0名	0歳
女 子	8名	0名	48歳
合計又は平均	8名	0名	48歳

9 承認可に関する事項

該当なし

II 事業の状況

1 事業の実施状況

平成 27 年度 指導者・指導士認定・教育事業報告
(平成 27 年 1 月～平成 27 年 12 月)

- ・ 3 B 体操指導者の養成と技能の向上を図る教育（第 4 条 第 1 項 4 号）

指導者の養成及び指導技術の向上を目的とする

① 指導者検定

各地区毎に全国で計 78 回、指導者養成数は計 188 名

地区	北東北	東北	北関東	関東	新潟	北陸	静岡	
回数	2	6	8	12	1	5	2	
人数	3	13	24	22	10	5	6	
地区	中部	北関西	関西	山陰	中国	四国	九州	計
回数	4	1	12	2	9	3	11	78
人数	6	1	47	3	14	5	29	188

② 指導士検定

各地区毎に全国で計 17 回、指導士養成数は計 88 名

地区	北東北	東北	北関東	関東	新潟	北陸	静岡	
回数	1	1	1	1	1	1	0	
人数	5	2	9	16	2	6	0	
地区	中部	北関西	関西	山陰	中国	四国	九州	計
回数	1	1	4	1	1	1	2	17
人数	7	7	9	6	2	2	15	88

③ 指導者・指導士への研修・教育

- ・ 支部、グループでの指導者研修会、指導者勉強会
- ・ 指導士に研修会前の事前研修及び指導士勉強会

合計 7,957 回参加者延べ 94,170 名で実施

地区	北東北	東北	北関東	関東	新潟	北陸	静岡	
回数	295	381	921	1,101	240	369	207	
人数	3,543	4,935	11,043	12,847	6,900	4,063	2,614	
地区	中部	北関西	関西	山陰	中国	四国	九州	計
回数	583	47	795	132	248	432	2,206	7,957
人数	7,365	2,083	10,747	2,505	4,142	3,505	17,878	94,170

④ 指導士研究会

指導士に養成コースの為の1泊2日の宿泊研修を各地区・支部及びグループ単位で実施
合計66回参加者1,619名

地区	北東北	東北	北関東	関東	新潟	北陸	静岡	
回数	4	4	7	7	2	4	2	
人数	65	109	148	197	41	74	55	
地区	中部	北関西	関西	山陰	中国	四国	九州	計
回数	5	1	9	2	5	4	10	66
人数	107	54	204	55	97	81	332	1,619

⑤ 平成28年度 研修実技研究委員会

担当者前打合せ 6月30日(火) 9名参加
創作勉強会 8月4日(火)～5日(水) 10名参加
まとめ会議 8月27日(木) 10名参加

⑥ 平成28年度 研修委員会

研修実技伝達 10月8日(木)～9日(金) 38名参加

⑦ 指導者教育勉強会

3月18日(水) 3B体操会館にて参加者86名で実施

テーマ『健康長寿社会の実現に向けて～健康・予防元年～』

講師：公益財団法人 健康・体力づくり事業財団 常務理事 増田和茂先生

【内容】

現在の日本は世界一の長寿国、超高齢社会国家となり、少子高齢化や社会保障費の確保、医療費の問題など多くの問題を抱えている。病気や介護が必要となる原因の多くが生活習慣にあり、健康長寿社会の実現に向けて健康を支え、守るための社会環境の整備の必要性を学んだ。

⑧ 外部講師依頼講演会

・四国地区指導者勉強会

7月12日(日) 松前総合文化センターにて参加者106名で開催

【目的】

年齢とともに運動機能が低下し、それに伴い自立度も低下する。運動機能低下で要介護になることを予防することで、健康寿命を延ばす対策の一つとする。
また、超高齢化社会となるこれからの介護は、施設だけでは抱えきれなくなり、在宅介護が必要とされている。いかに在宅で支えていけるのかその方法を今現在の在宅医療の現状から学ぶ。

【内容】

外部講師に講演、実技指導を依頼し、「ロコモティブ・シンドロームの予防」や「在宅医療の現状」について学び、地区指導者研究チームによる「骨格から学ぶ検定実技」の発表を行う。

【成果】

指導者全員が集中してロコモティブ・シンドローム予防についての理論と実技を学ぶことができ、これからの教室運営に役立つ講演になった。

検定実技を骨格からどう動くかを考えることで、動きやすくなった。

【今後の取組】

さらに理論の勉強をしたいとの意見があるため、地区にて高齢者の実技に繋がる理論と実技の勉強会実施を考える。

⑨ 資格委員会

指導者検定・指導士検定を担当する者への研修・教育

指導者養成コースを担当する者への実技・理論等の勉強会

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ・ 9地区 13回 259名 | } 合計 457回参加者 5,320名で実施 |
| ・ 37支部 444回 5,061名 | |

⑩ 勉強会・講習会

指導者の知識、技術、指導力の向上を目的とした勉強会や講習会

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ・ 6地区 15回 283名 | } 合計 141回参加者 1,582名で実施 |
| ・ 16支部 126回 1,299名 | |

⑪ 指導者を目指される方への説明会やオープンレッスン

10支部 45回参加者 535名で実施

⑫ 指導士会議

- | | |
|-------------------|------------------------|
| ・ 1地区 2回 20名 | } 合計 114回参加者 1,033名で実施 |
| ・ 9支部 112回 1,013名 | |

⑬ 3B体操指導者テキストCD製作のための打合せ

⑭ 養成コースに必要な教材・CD等の取扱い

平成 27 年度 調査・研究事業報告
(平成 27 年 1 月～平成 27 年 12 月)

・ 3 B 体操教室の成果と運営に関する調査・研究 (第 4 条 第 1 項 5 号)

① ロコモ対策

健康問題となっているロコモティブ・シンドロームの対策として、65 歳以上の指導者を対象に体力測定を実施し、そのデータを基に今後の対策を研究し、指導者及び会員の健康寿命を伸ばす。又、自身の体力を知り、体力強化を図る。

合計 87 回、延べ 2,398 名で実施

【成果】

指導者自身が自分の体力を知ることで自信を持ち、今後の活動への意欲にも繋がった。弱い部分や苦手な部分を強化する運動を教室に取り入れ、生活の見直しを積極的に行うようになり体力への意識改革となった。

【今後の取組】

測定結果のデータを基に勉強会を実施し、指導者と会員がともに体力の維持、向上していくため、効果的に強化できる体操を教室プログラムに取り入れることで、健康寿命の延伸に繋げる。

② ロコモ対策委員会

ロコモティブ・シンドローム対策のシニア用実技を創作し、伝達。

③ 最新の運動情報の収集・調査

・「指導のてびき」改訂に伴う調査

指導者、指導士養成の為の教材「指導のてびき」を改訂予定である為、現在使用している「指導のてびき」の内容の見直しや最新情報の収集等を行う。

④ その他 各年代の健康問題に関する調査、研究等

⑤ 外部団体との意見交換及び情報収集等、外部団体主催の行事への参加

・生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2015 (岩手県盛岡市)

2 月 6 日(金) ホテルメトロポリタン盛岡 5 名参加

【目的】

スポーツ・レクリエーション団体、自治体、学識者。産業関係者など各界の皆さんが一堂に会し、日本における生涯スポーツの今後について研究協議や意見交換が行われる会議に参加する事で 3 B 体操の普及活動の参考とする。

⑥ 体力維持向上推進部会（北東北地区）

6月27日(土) 地区代表者、支部シニア担当7名参加

【目的】

指導者及び会員が自分の体力を把握し、体力の維持向上のため不足部分の強化と生活と意識を改善し転倒予防、持久力アップ、回復力アップなどに繋げる。

【内容】

1回目のロコモ対策事業の結果からその実態を分析し、それぞれが不足部分を補い、維持するための対策と実技を研究し、創作実技を伝達。

【成果】

指導者の体力の実態を把握できた。教室で楽しいもの、好きなものだけでなくロコモ対策になる実技を取り入れるなど偏った指導にならないよう自分自身への警鐘の機会になった。意味や目的のある言葉で、熱意のある指導ができるようになった。

【今後の取組】

地区委員会にて創作した実技を支部でしっかり伝達していく。65歳以上の指導者及び会員の体力の変化を観察していく。

⑦ 中学校保健体育科授業での「体づくり運動」（九州地区）

10月26日(月)～30日(金)、11月24日(火)、26日(木)～27日(金)

大分県速見郡日出町立日出中学校 大分県支部指導者7名

【内容】

中学1・2年生472名を対象に、保健体育授業で3B用具を使用した「体づくり運動」を行った。11月27日開催の「平成27年度 大分県学校体育研究大会」にて県下から370名の先生方や学校関係者の前で公開授業を行った。

【成果】

3B用具を活用した体力を高める運動を数多く取り入れ、生徒の皆さんに意欲的で楽しく取り組んでもらえ、いろいろなコアトレーニングができるようになった。指導者7名で関わることで行き届いた指導ができ、達成感を味わってもらえた。研究大会では参加された先生方からも高評価だったと伺い、綿密に計画し取り組んできた3B体操が評価され自信に繋がった。

【今後の取組】

今回の経験をもとに県下の学校に3B体操を拡げていけるよう、支部で取り組んでいく。

平成 27 年度 子育て・ジュニア支援事業報告
(平成 27 月 1 月～平成 27 年 12 月)

- ・乳幼児から小中学生、その父母のスポーツ実践と体力向上・健康増進の為の 3 B 体操の指導と支援 (第 4 条 第 1 項 1 号)

運動を通して子育て支援を行い、地域での拠点 (教室等) の拡大を目指す

① 平成 27 年度 ジュニア実技研究委員会

創作勉強会	1 月 14 日 (水)～15 日 (木)	10 名参加
まとめ会議	2 月 12 日 (木)	10 名参加

② 平成 27 年度 研修委員会

ジュニア実技伝達	3 月 8 日 (日)～9 日 (月)	38 名参加
----------	---------------------	--------

③ 平成 28 年度 ジュニア実技研究委員会

担当者前打合せ	11 月 18 日 (水)	9 名参加
創作勉強会	12 月 15 日 (火)～16 日 (水)	9 名参加

④ 災害地復興支援事業

中国地区より福島県災害対策本部へ災害地復興支援義援金として 22,085 円贈呈。

⑤ 地区・支部主催 無料体験会

<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 地区 25 回 670 名 ・ 34 支部 844 回 12,643 名 	}	合計 869 回参加者 13,313 名で実施
---	---	-------------------------

⑥ 地区・支部主催 有料体験会

<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 地区 14 回 277 名 ・ 11 支部 160 回 4,147 名 	}	合計 174 回参加者 4,424 名で実施
--	---	------------------------

⑦ 行政他、外部団体主催 無料講習会

<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 地区 55 回 2,642 名 ・ 28 支部 1,714 回 60,543 名 	}	合計 1,769 回参加者 63,185 名で実施
---	---	---------------------------

⑧ 行政他、外部団体主催 有料講習会

<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 地区 70 回 2,769 名 ・ 12 支部 369 回 11,298 名 	}	合計 439 回参加者 14,067 名で実施
---	---	-------------------------

⑨ 大会及びつどい

<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 地区 6 回 2,423 名 ・ 13 支部 21 回 3,703 名 	}	合計 27 回参加者 6,126 名で開催
--	---	-----------------------

⑩ 勉強会

- ・ 13 地区 20 回 517 名
 - ・ 40 支部 121 回 3,029 名
- } 合計 141 回参加者 3,546 名で実施

⑪ 行政他、外部団体主催イベント

21 支部 42 回参加者 4,822 名で参加

平成 27 年度 成人・ファミリー支援事業報告
(平成 27 年 1 月～平成 27 年 12 月)

- ・成人の疾病の予防と、健康な社会生活推進の為の 3 B 体操の指導と支援 (第 4 条 第 1 項 2 号)
- ・健康・スポーツ団体との交流と連携 (第 4 条 第 1 項 6 号)

① 第 69 回 全国レクリエーション大会 in ながの

3 B 体操シニア大会・全国交流大会 (長野県松本市)

9 月 21 日(月) 松本市総合体育館 参加者総数 3,311 名で開催

午前の部はシニア大会で順天堂大学名誉教授 武井正子先生に『100 歳を目指して体と心の元気づくり』をテーマにご講演頂いた。参加の皆様とともに体を動かしながらの講演は大変わかりやすく大好評だった。

午後の部の全国交流大会では地元の方々と全国の方々との交流や発表を行い、3 B 体操の愛好者として気持ちが一つになり楽しい時間を共有できた。又、地元行政の方々に知って頂き幅広く講座を頂き、新規教室開設に繋がった。

② 東日本大震災復興支援 第 70 回 国民体育大会 紀の国わかやま国体

デモンストラレーションスポーツ・3 B 体操

8 月 30 日(日) 高野町立高野山中学校体育館 参加者 633 名で開催

町民人口総数 3,400 名の内、約 1/5 の参加があり、子どもから大人まで町を挙げての大会の中で、幼稚園児、小・中・高校生、成人がそれぞれに日頃の練習の成果を発表。大会後、指導者を 3 名養成。講座依頼も成人・高齢者だけでなく、親子・ジュニアの依頼も増えた。今後も更に和歌山県に 3 B 体操を広めていく。

③ 災害地復興支援事業

新潟地区・北関西地区より公益社団法人 日本 3 B 体操協会 福島北支部・福島南支部へ 138,552 円、中国地区より福島県災害対策本部へ 164,095 円の災害地復興支援義援金を贈呈。

④ 地区・支部主催 無料体験会

- ・ 2 地区 77 回 831 名
 - ・ 42 支部 1,337 回 10,122 名
- } 合計 1,414 回参加者 10,953 名で実施

- ⑤ 支部主催 有料体験会
6 支部 34 回参加者 570 名で実施
- ⑥ 行政他、外部団体主催 無料講習会
・ 2 地区 61 回 1,002 名
・ 29 支部 714 回 22,914 名 } 合計 775 回参加者 23,916 名で実施
- ⑦ 行政他、外部団体主催 有料講習会
・ 1 地区 15 回 153 名
・ 14 支部 276 回 4,299 名 } 合計 291 回参加者 4,452 名で実施
- ⑧ 大会及びつどい
・ 3 地区 5 回 1,129 名
・ 27 支部 94 回 25,065 名 } 合計 99 回参加者 26,194 名で開催
- ⑨ 勉強会
・ 3 地区 4 回 288 名
・ 9 支部 15 回 464 名 } 合計 19 回参加者 752 名で実施
- ⑩ 行政他、外部団体主催イベント
・ 2 地区 8 回 1,731 名
・ 34 支部 114 回 21,728 名 } 合計 122 回参加者 23,459 名で参加

平成 27 年度 高齢者・障がい者支援事業報告
(平成 27 年 1 月～平成 27 年 12 月)

- ・ 高齢者・障がい者の安全な日常生活と健康寿命を伸ばす為の 3 B 体操の指導と支援
(第 4 条 第 1 項 3 号)

- ① 災害地復興支援事業
新潟地区より公益社団法人 日本 3 B 体操協会 福島北支部・福島南支部へ災害地復興支援義援金として 20,000 円贈呈。
- ② 地区・支部主催 無料体験会
・ 2 地区 73 回 750 名
・ 33 支部 401 回 4,911 名 } 合計 474 回参加者 5,661 名で実施
- ③ 地区・支部主催 有料体験会
・ 1 地区 2 回 134 名
・ 3 支部 8 回 73 名 } 合計 10 回参加者 207 名で実施

④ 行政他、外部団体主催 無料講習会

- ・ 2 地区 75 回 1,769 名
 - ・ 27 支部 1,714 回 42,031 名
- } 合計 1,789 回参加者 43,800 名で実施

⑤ 行政他、外部団体主催 有料講習会

- ・ 1 地区 14 回 277 名
 - ・ 12 支部 947 回 20,778 名
- } 合計 961 回参加者 21,055 名で実施

⑥ 大会及びつどい

1 地区 4 回参加者 272 名で開催

⑦ 外部講師依頼講演会

- ・ 中部地区勉強会 ロコモを知って、健康寿命をのばそう！

6 月 7 日(日) あいち健康プラザ プラザホール 参加者 360 名

講演 独立行政法人 国立長寿医療研究センター先端診療部部長 松井康素氏
体操指導 公益社団法人日本 3 B 体操協会 代表理事 田中み代氏

【内容】

ロコモティブ・シンドロームについて学び、理解した上で必要な運動を体験し、運動器が衰えない様、運動継続の必要性の周知と運動器強化に取り組む。

【成果】

加齢に伴い運動器が衰え、様々な疾患が現れることが理解でき、運動の必要性を強く感じた。又、参加者の半数以上は会員と一般の方であり、教室活動だけでなく今回のような講演会も公益事業として実施していることもわかって頂き、講師の松井先生にも 3 B 体操の実技内容を褒めて頂いた。

【今後の取組】

健康日本 21 でもロコモティブ・シンドロームの認知度向上を目標に掲げているように、今必要な情報を取り込み、今後も周知していくことが大切である。
地区の事業に続き支部でも外部講師依頼勉強会を実施し、指導者全員が運動器の強化に取り組む。

- ・ 北関東地区 ロコモ勉強会 健康のための一歩を踏み出そう！

11 月 1 日(日) 岩槻東口駅コミュニティセンター 参加者 241 名

講演 国立健康・栄養研究所 健康増進研究部部長、
独立行政法人 国立健康・栄養研究所 健康増進研究部部長 宮地元彦氏

【内容】

生活習慣病、メタボリック・シンドローム、ロコモティブ・シンドロームの予防等に関する科学的根拠を学ぶ。

【成果】

資料に沿ってわかりやすく、親しみやすい講演だった。今回の勉強会でロコモに対する理解と知識がより深まった。

【今後の取組】

健康寿命を伸ばすために3B体操を通してどのように関わっていくかを考え、できるだけ効果的で無理のない運動プログラムを心がけ、これからの教室活動に活かしていく。

⑧ 勉強会

- ・ 5地区8回290名
 - ・ 24支部66回1,669名
- } 合計74回参加者1,959名で実施

⑨ 行政他、外部団体主催イベント

6支部6回参加者952名で参加

平成27年度 共 通
(平成27年1月～平成27年12月)

3B体操の全事業を実施するための方針の決定、企画検討、実施のための各種打合せ等の会議を行う

① 災害地復興支援事業

災害地復興支援事業として福島県が実施する復興支援を目的とした活動に対し、協会より助成を行う（5年計画、本年度5年目）

・ 東日本大震災ボランティア活動支援事業（東北地区）

通年で福島県広域にてボランティア活動支援を合計62回参加者総数588名で実施
協会よりボランティア活動費318,270円を助成

【目的】

長期間にわたる仮設生活の被災者の健康維持と福島県の子どもたちの体力低下をくい止める一助となれるよう講習会を実施。

【内容】

仮設住宅での講習会では、主に運動を楽しんで頂きながら、健康維持の大切さを伝える。子どもと保護者を対象とした講習会では、親子、子どもたちに思いきり体を動かしてもらい体力づくりを行う。

【成果と今後の取組】

震災被害から未だ帰省が叶わないながらも借家や自宅を構えて仮設を出る人が増えており、仮設でのボランティア講習会も少人数となってきて活動の一区切りを迎えた。今年度は、被災者の多くが移り住むいわき市に焦点を置き、被災地に3B体操を普及するため、指導者養成を目的としたボランティア活動を手掛け、来年度から教室として自立させる。そして、大切な遊び(運動)の場を奪われた福島県内の子どもたちの体力低下が言われている中、このボランティア活動は当協会の姿勢を行政や保護者の方に大いにアピールすることができた。ボランティアから教室へと繋げるよう働きかけている。

② 教室数

詳細は「地区別対象別 教室・講座・受講者数一覧」参照

平成 26 年 12 月末教室数 10,333 教室

平成 27 年 12 月末教室数 10,363 教室

(内訳)

対象別	ベビーとお母さん	親子	ジュニア	成人	高齢者	障がいの ある方	その他	計
26 年 12 月末	157	667	714	6,689	1,735	186	185	10,333
比率	1%	6%	7%	65%	17%	2%	2%	100%
27 年 12 月末	114	594	682	6,763	1,889	195	126	10,363
比率	1%	6%	7%	65%	18%	2%	1%	100%

③ 定例会

月 1 回の運営打合せ会議を実施

④ 地区代表者会議

3 B 体操会館にて合計 7 回実施

	実施日	参加者数
第 1 回	1 月 28 日(水)	26 名
第 2 回	4 月 22 日(水)	51 名
第 3 回	5 月 27 日(水)	27 名
第 4 回	8 月 26 日(水)	21 名
第 5 回	10 月 8 日(木)	42 名
第 6 回	10 月 27 日(火)	20 名
第 7 回	12 月 2 日(水)	27 名

⑤ 事業拡大の為の拠点づくり

更なる 3 B 体操公益事業拡大のための拠点づくり計画を続行

平成 27 年度の進捗状況

地区	購入建設地・予定地	進捗状況
全国本部	大阪府大阪市淀川区	5 月 土地契約・6 月 決済
北関東	埼玉県さいたま市	7 月 建物契約・12 月 完成・引越し済

⑥ 教室開拓の助成

教室開拓のための体験会を実施し、教室開設後、協会より開拓費用を助成

新規教室開設 368 教室 開拓費用助成 1,840,000 円

⑦ 地区・支部運営会議

理事・理事OB・地区代表者等数名による地区・支部での会議を全国合計 767 回参加者 3,817 名で実施

⑧ 地区会議

地区スタッフ・支部長・各セクション担当者での会議を全国 156 回参加者 1,947 名で実施

⑨ 支部会議

支部長・グループ長・各セクション担当者での会議を全国 762 回参加者 8,362 名で実施

⑩ その他の会議

3 地区 4 回参加者 97 名で実施

会計関係

① 全国会計委員会

4 月 22 日(水) 全体会 参加者 50 名で実施

② 全国会計個別打合せ会議

4 月 21 日(火)～23 日(木) に実施

③ 地区・支部会計委員会

<ul style="list-style-type: none">・ 13 地区 72 回 520 名・ 32 支部 129 回 565 名	}	合計 201 回参加者 1,085 名で実施
--	---	------------------------

広報関係

① 公益社団法人 日本 3 B 体操協会機関紙 3 B ライフの編集・発行

毎月(事務局に於いて) 月間平均 45 ページ

② 地区・支部広報委員会

各地区に於いて 3 B ライフ掲載の記事及び地方紙の作成

<ul style="list-style-type: none">・ 14 地区 143 回 657 名・ 36 支部 309 回 754 名	}	合計 452 回参加者 1,411 名で実施
---	---	------------------------

会員証関係

① 会員登録と会員証・指導者証の発行

平成 27 年度 新指導者会員 188 名の指導者証を発行

平成 27 年度 新規登録会員 10,651 名の会員証を発行

渉外関係

① 3 B 体操紹介リーフレットの考案と作成

② 3 B 体操普及の為の渉外活動に必要な名刺、リーフレットの取扱い

ホームページ関係

平成 27 年度 2 月にホームページをリニューアルし、各地で開催されたイベントの活動報告の掲載や、教室紹介・会員の方からのメッセージ・体験談などのページを新設。

ホームページを見て教室紹介や講座依頼の問合せが増えている。

月平均来訪者数 約 5,500 名、ホームページよりの問合せ件数 83 件

平成 27 年度 3 B 用品等販売事業報告 (平成 27 年 1 月～平成 27 年 12 月)
--

- ・その他、この法人の目的達成の為に必要な事業(第 4 条 第 1 項 7 号)

体操に必要な用具・ウェア等を取り扱う事業

地区用品担当者との販売促進の為に会議を実施

全国用品委員会の実施後、地区・支部に於て用品委員会及び試着会を実施

① 全国用品委員会

5 月 27 日(水)～28 日(木) 参加者 46 名

12 月 2 日(水)～ 3 日(木) 参加者 47 名

② 地区・支部用品委員会

全国用品委員会の内容を各地区・支部へ伝達

・ 14 地区 55 回 1,182 名

・ 42 支部 214 回 2,677 名

} 合計 269 回参加者 3,859 名で実施

③ 試着会

登録会員、指導者を対象に開催

・ 10 地区 210 回 2,564 名

・ 44 支部 574 回 19,326 名

} 合計 784 回参加者 21,890 名で開催

平成 27 年度 賃貸事業報告 (平成 27 年 1 月～平成 27 年 12 月)

- ・その他、この法人の目的達成の為に必要な事業(第 4 条 第 1 項 7 号)

① 3 B 体操会館の 4F 及び 1F・5F の 1/2 部分を(株)テル子コーポレーションへ継続賃貸

② 北東北地区本部会館(岩手県盛岡市)の 1F 及び駐車場を継続賃貸

③ 地区本部会館の駐車場の貸出等

平成 27 年度 3 B 保険取りまとめ事業報告
(平成 27 年 1 月～平成 27 年 12 月)

・その他、この法人の目的達成の為に必要な事業(第 4 条 第 1 項 7 号)

① 3 B 体操を實踐中及び会場への往復途上に起こる傷害事故に対応する補償制度と指導者において法律上の損害賠償責任が発生した事故に対応する保険の取りまとめ業務を行う

【業務内容】

- ・ 3 B 体操傷害補償制度、3 B 体操賠償責任保険の加入申込受付と 3 B 保険取扱い代理店への団体加入申込

<平成 27 年 1 月～12 月までの保険加入状況>

	保険種類	加入件数	補償制度料	補償制度 加入料計	備 考
受講者 他	A 保険	32,360	月額 100 円	37,164,800	月 3 回以上
	B 保険	18,200	月額 50 円	10,111,700	月 2 回以下
	臨時保険	109,164	1 回 9 円	982,476	3 ヶ月以内の臨時教室 ・講習会等
	宿泊保険	1,942	1 泊 2 日 1 名 233 円～	405,448	宿泊数、人数により 金額変更あり
	ベビー保険	451	月額 50～100 円	114,950	
指導者	指導者保険	2,975	月額 320 円	10,977,340	新指導者は受講者期間に かけていた補償制度料の 残額を充当している
	賠償責任保険	2,965	月額 100 円	3,502,800	
	合 計	168,057		63,259,514	

なお、当事業は協会で行うため、毎年 12 月末時点での保険加入の総件数・総補償制度料に対して、翌年 1 月には団体割引相当分の事務手数料を受けることとなる。

・事故報告受付と 3 B 保険取扱い代理店への連絡確認等

【事故と保険会社からの保険金支払い状況 (1 月～12 月)】

受講生保険	事故件数	85 件	支払保険金	合計	4,646,500 円
指導者保険	事故件数	29 件	支払保険金	合計	2,497,500 円

・事故報告に基づく事故防止の広報と宣伝

受講生傷害保険の事故件数 85 件のうち、レッスン中のケガが 48 件。

レッスンの準備や片付け中の時間や往復途上での事故が 37 件。

指導者が、事故の起きないように注意を払う意識をすることが事故防止につながる。

平成 27 年度 法人会計
(平成 27 年 1 月～平成 27 年 12 月)

① 理事会

- 第 1 回 3 月 4 日(水) 出席者 12 名
- 第 2 回 11 月 25 日(水) 出席者 12 名

② 定時社員総会

- 3 月 19 日(木) 出席者 84 名

③ 地区・支部主催総会

- ・ 14 地区 16 回 589 名
 - ・ 44 支部 60 回 2,282 名
- } 合計 76 回参加者 2,871 名で開催

④ 3 B 体操会館の維持管理

2 重要な契約に関する事項

該当なし

3 役員会等に関する事項（理事会・社員総会等）

第 1 回理事会

- | | |
|-----|--|
| 日 時 | 平成 27 年 3 月 4 日（水）10:00～11:10 |
| 議 題 | 1. 第 3 期(平成 26 年 1 月～12 月) 事業報告(案)
2. 第 3 期(平成 26 年 1 月～12 月) 決算報告(案)
3. 拠点づくり報告
その他 ・ 名誉指導者表彰者 |

第 2 回理事会

- | | |
|------|--|
| 日 時 | 平成 27 年 11 月 25 日（水）10:00～11:45 |
| 報告事項 | 1. 内閣府の立入検査報告について
2. 任期満了に伴う理事・監事の推薦について
その他 |
| 議 題 | 1. 第 5 期 平成 28 年度 事業計画(案)について
2. 第 5 期 平成 28 年度 収支予算(案)について
3. 3 B 体操会館建設資金借入について
4. 役員退職慰労金について
5. 名誉顧問の称号について
その他 |

定時社員総会

日 時 平成 27 年 3 月 19 日 (木) 9 : 00 ~ 14 : 00

議 案

1. 平成 26 年度 事業報告(案)
 2. 平成 26 年度 決算報告(案)
 3. 役員人事について
 4. 役員退職慰労金について
 5. 拠点づくり報告
 6. 平成 27 年度 事業計画
 7. 平成 27 年度 収支予算
- その他
- ・ 名誉指導者表彰式
 - ・ 義援金贈呈
 - ・ 全レクながの関係 (関東地区)

Ⅲ 法人の課題

該当なし

Ⅳ 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事項

該当なし